

2016年4月12日掲載

「仕事の心構え再確認」

4月に入り、新人研修のシーズンを迎えている。講師業をしている私は、新社会人に対し、毎年この時期にビジネスマナーやコミュニケーションなど仕事に臨む心構えを伝えている。新人研修のキーワードは「主体的」である。教えてもらうのを待つのではなく、自ら先輩や上司に聴く姿勢を心がけることで学びが深まっていく。中でも力を入れて伝えているのは、組織の中でチームとしてどう貢献するかということである。組織では一人では結果を出せない。自分の役割を果たしながら同僚や先輩、上司と一緒に取り組んでいく必要があるからだ。

人それぞれ仕事の心構えがある。私の父は約20年前に脱サラし、材木業を営んでいる。昔から父は、「材木一本でも注文が入ったらすぐに届ける」と言っている。相手が欲しいものを迅速かつ丁寧に届けることが父の仕事の心構えだという。そんな父の人脈はどんどん広がり、今も現役で仕事に励んでいる。

新社会人のみなさんは、やったことがないことをやるのは不安だと感じているかもしれない。不安になるのは当然だ。しかし、せっかく入社した会社で自分が何をしたいのか、長期ビジョンから今自分に何ができるのかを明確にし、失敗を恐れずチャレンジしてほしい。

私は講師として相手の前進や結果をつくることがミッションだと思っている。社会人歴が長くなったが、4月は気持ちを新たに、仕事の心構えも再確認して取り組んでいく。